

決算

平成17年12月定例議会において、平成16年度の各会計の決算が認定されました。

平成16年度決算報告

歳入の概要

歳入総額は149億983万4千円で、前年度に比べ13億105万6千円の増額となりました。

構成比で見ると、地方交付税が前年度に比べ2億117万4千円の減額となりましたが、40億8592万円で全体の27.4%を占めています。続いて、町税の18.9%、繰入金の12.3%、県支出金の6.9%の順となっています。

増減の主なものは、繰入金が増加した7億848万1千円、町税が5億7150万円、諸収入

が2億530万3千5百円の増となり、財産収入が5330万6千円、国庫支出金が4462万2千円の減となっています。

繰入金の増は、財政調整基金やふるさとづくり基金を始めとする特定目的基金からの基金繰入金の増によるもの、町税の増は、普通建設事業施工に伴う過疎対策事業債・義務教育施設整備事業債等によるもの、諸収入の増は、旧上齋原村における企業会計廃止に伴う精算金などによるものです。財産収入の減は、土地売却収入が減ったことによるもの、国庫支出金の減は、「国庫補助負担金の改革」によるものです。

町税は19億6312万8千円

※平成17年3月1日の合併により、平成16年度決算については、新鏡野町において一般会計となった会計の平成15年度及び平成16年度の合計額から、これらの会計間での繰出・繰入等を除いた額と比較し算出しています。

歳出の概要

千円で、前年度に比べ340万2千8百円の増額となりました。

歳出総額は、141億767万7千円で、前年度に比べ11億324万2千8百円の増額となりました。

構成比を目的別に見ると、教育費が最も高く18.1%、続いて総務費が17.3%、公債費が15.7%、民生費が13.5%の順となっています。

増減の主なものは、商工費が8億1409万1千円、教育費が3億559万9千円の増となり、農林水産事業費が1億6278万円の減となっています。

一般会計 歳入 149億983万4千円

